



波折神社の歴史的な価値が再評価

波折神社の建造物が国の有形文化財(建造物)に登録される見込みとなり、3月24日に報道関係者向けの現地説明会を開催しました。これで、市における国登録有形文化財(建造物)は計7件となる予定です。

波折神社の建造物が、国の登録有形文化財(建造物)に登録される見込みとなり、3月24日に報道関係者向けの現地説明会を開催しました。これで、市における国登録有形文化財(建造物)は計7件となる予定です。

波折神社の建造物が、国の登録有形文化財(建造物)に登録される見込みとなり、3月24日に報道関係者向けの現地説明会を開催しました。これで、市における国登録有形文化財(建造物)は計7件となる予定です。



▲報道機関向けに説明を行う市職員

波折神社の建造物が、国の登録有形文化財(建造物)に登録される見込みとなり、3月24日に報道関係者向けの現地説明会を開催しました。これで、市における国登録有形文化財(建造物)は計7件となる予定です。

豪雨を教訓に防災を考える

ふくつ防災消防フェス

地域の防災意識を高め、消防活動への理解を深めてもらうことを目的に、3月15日にふくつ防災消防フェスを開催しました。ふくとぴあでは、ホース延長体験や放水体験など、さまざまな体験をする親子連れでにぎわいました。また、市中央公民館では、九州大学の三谷泰浩教授による講演会やパネルディスカッションが行われ、北野消防署長からは「8月豪雨のときに満潮だったら、被害はさらに大きくなっていったかもしれない。皆さんも防災についてもっと考えてほしい」といった注意喚起もありました。



▲消防団員に支えられながら放水体験をする子ども

世界を知るアスリートの凱旋

体育フェスタ×世界のドッジボールを学ぼう

「体育フェスタ×世界のドッジボールを学ぼう」を3月15日に福岡南小学校で開催しました。講師を務めたのは福岡市出身の日本代表・森美月選手と永石恒平選手。子どもたちは、5個のボールを同時に使うドッジボール「マルチボール」に挑戦し、戸惑いながらも声を掛け合ってプレーしていました。

子どもたちから「どんなときが一番うれしいか」と質問されると、森選手は「どんなボールにも対応できるように技術を磨いているので、キャッチできたときが一番うれしい」と話していました。



▲参加した子どもたちにマルチボールを教える森選手

対話で作るこれからの福津の教育

新しい教育プラン策定のためのワークショップ

「第3回新しい教育プラン策定のためのワークショップ」を、3月20日に開催しました。参加者は「福津の子どもたちにどんな大人の姿を見せたいか」をテーマに、意見を書き出したり、他のグループの意見に付箋で付け加えたりして、議論を深めていきました。



▲第2回までの内容を振り返る参加者

まごころ込めた手作りの雑巾

市民団体から雑巾532枚の寄贈

ボランティア団体「ビーチクリーンズ」「さくらんぼグループ」「マスカットグループ」「やぎなみ会」の皆さんが3月11日に手縫いの雑巾532枚を市に寄贈しました。寄贈してもらった雑巾は市内の保育所や幼稚園、小学校で活用します。



▲雑巾を受け渡す市民団体の皆さん

鍛錬の成果を全国の舞台へ

空手道「柔刃會」の選手たちが全国大会出場

福岡本部道場空手道「柔刃會」に所属する選手たちが九州選抜予選会で優勝し、3人の選手が11月開催予定の全国選抜優勝大会に出場することを4月27日に市長に報告しました。選手たちは「次の全国大会でも頑張りたい」と大会に向けて意気込みを語りました。



▲左から須田さん、岩田さん、市長、坂元さん

本気で取り組んだ努力が実る

ダンスチーム「吉留水産」が複数の大会で活躍

市内の小学生が所属するダンスチーム「吉留水産」の皆さんが「D-SHOCK ONLINE FINALE 2025-2026」で優勝を果たすなど、複数の大会で輝かしい成績を収めました。大槻心浩さんは「みんなで大気で取り組んで良かった」と笑顔で話しました。



▲優勝を喜び吉留水産の皆さん

街角カメラリポート

奥之宮不動神社の「ぜんざい祭」

今回はU・Tさんからの投稿です

2月28日は宮地嶽神社の境内にある奥之宮不動神社の「ぜんざい祭」の日だ。ぜんざいを食べると無病息災で過ごすことができるといわれている。今年は例年以上に寒さが厳しかった。やっと待ちわびた暖かい春の訪れを感じながら、妻と2人で出かけた。約480kgの小豆を煮て2万食の白玉入りぜんざいが無料で振る舞われる。境内はすでに多くの人たちであふれていた。

まず目についたのが、金色と銀色の2つの大鍋。白い衣装を身にまとった2人の男性が、長いしゃもじで鍋の中を体全体を使ってかき混ぜていた。豪快そのものだ。横で、紫の法被を着た女性たちがぜんざいを器に入れてくれた。たくあんがひと切れ添えてあるのが食欲をそそる。札を言ってテーブルに座って食べてみる。甘くておいしい味が口中に広がり「来てよかった

な」としみじみ思った。帰る途中、境内で恒例の「猿回し」にも出会えた。演技が終わり、親方と一緒に挨拶をする猿の姿がかわいらしくて、思わず投げ銭を多めにしてしまった。



▶豪快にぜんざいをかき混ぜる男性ら